

I. 資格更新の流れ

家電製品アドバイザー・エンジニア資格の更新については、昨年より「**電子ブック+電子テスト**」を用いた新・資格更新方式となっております（※）。新方式では、申請、学習、更新試験の受験、結果判定まで全てWEB上で行えます。スマホやタブレットが使えるため、場所や時間を選ばず手軽に学習できるとともに、試験結果の可否が直ぐに分り、不合格の場合、合格まで何度でも再受験可能であるなど、従来方式（紙テキスト+マークシート）に比べて便利になります。

資格更新手続きの全体の流れを下表にまとめておりますので、ご確認の上、手続きを進めていただけますようお願い致します。

※PCやスマホなどを利用できる学習環境がない方に限り、従来方式による資格更新も可能です。その場合は、資格更新申請画面で、必ず「紙テキスト+マークシート方式」を選択してください。

手続きの順序	新・資格更新制度	特記事項
1. 資格更新申請	- まずは、家電製品協会認定センターのホームページ (http://www.aeha.or.jp/nintei-center/) より「資格更新の申請(インターネット申請)」手続きをしてください。申請期間は2016年12月1日(木)～2017年3月31日(金)です。 <申請手順> 1) マイページログイン ボタンをクリック 2) 新規作成/本人確認あるいはマイページをお持ちの方 ボタンをクリックし、ログインしてください。 3) マイページ画面で 資格更新申請 ボタンをクリックし、画面案内に従って申請を行ってください。 - インターネットを利用できる環境がない方に限り、紙申請による申し込みも可能です。認定センター宛「ファックス」または「メール」にてご連絡ください。（※） (この場合、手数料及び郵送料として別途 500 円を申し受けます)	<u>2017年3月31日(資格有効期限の1カ月前)を過ぎると申請できなくなりますのでご注意ください。</u> 住所・連絡先・勤務先などの変更があれば、「個人情報の照会・変更(修正)」ボタンをクリックし変更してください。 紙申請の要領は下欄をご参照ください。
2. 更新手数料のお支払い	- インターネット申請では、「クレジット払い」、「コンビニ払い」から選択していただけます。 - 紙願書による申し込みの場合は、「ゆうちょ払い」となります。(払込番号等を認定センターよりご連絡します)	<更新料> ・AV 情報/生活の一方 5,660 円 ・AV 情報/生活の両方(総合) 8,450 円
3. 資格更新学習及び写真提出	- 上記 1 及び 2 の手続きを完了されると、直ぐに資格更新学習用テキスト(電子ブック)の学習が可能となります。端末としては PC・タブレット・スマートフォンのいずれも使用可能です。 - 電子ブックの学習の節目として、理解度テスト(各 3 問)を設定していますので、すべてに合格してください。 - 新認定証に使用します顔写真をご提出いただきます。基準(下記 URL)に適合した顔写真をアップロードしてください。 http://www.aeha.or.jp/nintei-center/uploads/facephotki.jyun.pdf	電子ブックは、認定センターが執筆・編集する最新の参考書をベースとした内容です。
4. 資格更新試験	全ての理解度テストに合格しますと、資格更新試験(電子テスト)を受験できます。資格更新のためには、この試験に合格していただく必要があります。受験の結果、所定の合格基準に到達していれば、資格更新を認定致します。<u>不合格の場合、合格まで何度でも受験可能です。</u>ただし、資格の有効期限内に資格更新の認定を受けませんと、資格を失効することになります。	<資格更新テスト> ・アドバイザーは AV 情報/生活ともに 20 問/総合 30 問 ・エンジニアは AV 情報/生活ともに 20 問/総合 40 問
5. 「認定証」の交付	資格更新の認定を受けられますと、資格更新日(2017.5.1)までに新たな「認定証」をお届けいたします。	判定の時期が 4 月以降になりますと、資格更新日までに認定証をお届けできない場合があります。

※インターネットを利用できる環境がない場合の申請方法(ファックスまたはメールの要領)

以下の①～④の内容を「ファックス(03-3595-0766)」または「メール(nintei-info2@aeaha.or.jp)」でご連絡ください。なお、ご連絡いただく場合は、事前にお電話(03-6741-5609)を頂戴できれば幸いです。

①お名前(ふりがな) ②生年月日 ③郵便番号・住所・電話番号

④更新を希望する資格の名称・現在保有されている認定証の登録番号

(今回の更新に合わせて「(資格の)総合化」を希望される場合は、その旨明記ください)

Ⅱ. 資格更新学習の手順

資格更新学習および資格更新試験の受験は下表にしたがって行ってください。

学習手順	操作および画面																																																																																					
1.学習開始	マイページにて資格更新学習・資格更新試験（下図①）をクリックすると、学習カリキュラム画面が開きます。 お申し込み関連 受験 受験申請(EXチャレンジ) 受験申請内容の照会 試験結果照会 更新 資格更新申請 学習関連 マイスタディ講座 ① 資格更新学習・資格更新試験 各社新製品情報アクセスサイト 購入関連 個人情報関連 個人情報の照会・変更(修正) ログインID変更 パスワード変更 保有資格有効期限照会 資格の総合化申請																																																																																					
2.テキスト学習	各科目のテキストは5～6分割になっており、好きなカリキュラムから学習を始められます。学習カリキュラム画面にて学習する（下図②）をクリックすると、テキストが開きます。重要箇所には黄色のマーキングを施しています。 アドバイザー学習カリキュラム一覧 ▼ AV情報家電 商品知識・取扱 学習カリキュラム <table><thead><tr><th>目次</th><th>②</th><th>③</th><th>操作 ④</th><th>状況</th></tr></thead><tbody><tr><td>1章 デジタル技術の基礎</td><td>学習する</td><td>理解度テスト</td><td>解説</td><td>未</td></tr><tr><td>2章 テレビ放送</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3章 テレビ受信機</td><td>学習する</td><td>理解度テスト</td><td>解説</td><td>未</td></tr><tr><td>4章 デジタルディスプレイコーダー</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>5章 ビデオカメラ</td><td>学習する</td><td>理解度テスト</td><td>解説</td><td>未</td></tr><tr><td>6章 デジタルカメラ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>7章 AVシステム</td><td>学習する</td><td>理解度テスト</td><td>解説</td><td>未</td></tr><tr><td>8章 AV機器の接続・設定</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>9章 ナビゲーションシステム</td><td>学習する</td><td>理解度テスト</td><td>解説</td><td>未</td></tr><tr><td>10章 パソコン</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>11章 プリンター</td><td>学習する</td><td>理解度テスト</td><td>解説</td><td>未</td></tr><tr><td>12章 電話</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>13章 インターネット・AVネットワーク</td><td>学習する</td><td>理解度テスト</td><td>解説</td><td>未</td></tr><tr><td>14章 電池</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>15章 電源とスマートハウス</td><td>学習する</td><td>理解度テスト</td><td>解説</td><td>未</td></tr><tr><td>16章 防じん・防水</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 1章 デジタル技術の基礎 ● 1.1 信号のデジタル化 1. アナログ信号とデジタル信号 アナログ信号とは、スピーカーやテレビ画面から出力される音声や画像などのように、人間の五感に直接感じられる音や光の量、電圧の変化で伝送する信号である。ラジオやテレビ、レコードなど情報伝送の手段として、昔から長い期間にわたって主流であった。一方、デジタル信号とはこれらのアナログ信号を数値の列に変換したものである。放送や録音・録画時にも、劣化がないように工夫されている。デジタル信号を用いたメディアとしては音楽用CDが最初のもので、レコードから急速に乗り換えが行われた。その後MD、ICレコーダー、BSデジタル放送、地上デジタル放送などが出現し、現在はこのデジタル方式が主流となっている。なかでもTV放送はアナログTV放送が2011年7月（一部地域は2012年3月）に放送を停止し、すべてデジタル放送に移行している。 2. 2進数による表現 デジタル機器は、一般に1と0の数字だけを使用する2進数信号を用いている。電気回路の上では、1と0を電圧の「高い」、「低い」で表しており、この方式は外からのノイズに強い信号形式になる。 普段使っている10進数では、数字の1けたは0から9までの10種類の値で表す。10進数でも2進数でも大きい数を表すには、けたの数を増やしていくことに変わりはない（図1-1参照）。2進数の表示は0と1しか用いず、数字の1けたをビット（bit）と呼んでいる。たとえば、音楽用CDでは、瞬間瞬間の音声信号の電圧を16ビットの2進数を用いて65,536段階	目次	②	③	操作 ④	状況	1章 デジタル技術の基礎	学習する	理解度テスト	解説	未	2章 テレビ放送					3章 テレビ受信機	学習する	理解度テスト	解説	未	4章 デジタルディスプレイコーダー					5章 ビデオカメラ	学習する	理解度テスト	解説	未	6章 デジタルカメラ					7章 AVシステム	学習する	理解度テスト	解説	未	8章 AV機器の接続・設定					9章 ナビゲーションシステム	学習する	理解度テスト	解説	未	10章 パソコン					11章 プリンター	学習する	理解度テスト	解説	未	12章 電話					13章 インターネット・AVネットワーク	学習する	理解度テスト	解説	未	14章 電池					15章 電源とスマートハウス	学習する	理解度テスト	解説	未	16章 防じん・防水				
目次	②	③	操作 ④	状況																																																																																		
1章 デジタル技術の基礎	学習する	理解度テスト	解説	未																																																																																		
2章 テレビ放送																																																																																						
3章 テレビ受信機	学習する	理解度テスト	解説	未																																																																																		
4章 デジタルディスプレイコーダー																																																																																						
5章 ビデオカメラ	学習する	理解度テスト	解説	未																																																																																		
6章 デジタルカメラ																																																																																						
7章 AVシステム	学習する	理解度テスト	解説	未																																																																																		
8章 AV機器の接続・設定																																																																																						
9章 ナビゲーションシステム	学習する	理解度テスト	解説	未																																																																																		
10章 パソコン																																																																																						
11章 プリンター	学習する	理解度テスト	解説	未																																																																																		
12章 電話																																																																																						
13章 インターネット・AVネットワーク	学習する	理解度テスト	解説	未																																																																																		
14章 電池																																																																																						
15章 電源とスマートハウス	学習する	理解度テスト	解説	未																																																																																		
16章 防じん・防水																																																																																						
3.理解度テスト	テキスト学習後、理解度テスト（上図③）をクリックし、受験してください。理解度テストは各3問です。不正解の問題については解説（上図④）をクリックし、間違いの内容をよくご確認ください。合格するまで再受験可能です。全カリキュラムの理解度テストに合格されると、資格更新試験の受験が可能となります。 問1 次の文章が正しい場合は○、誤っている場合は×を選択してください。 デジタルカメラに使われるCCDやCMOSなどの撮像素子自体は、色を識別する機能がないので、R（赤）、G（緑）、B（青）それぞれ専用に3枚の撮像素子を使用し、色情報を加えて合成することにより、さまざまな色を再現している。 ○ ○ ○ × 前の問題 次の問題																																																																																					
4.資格更新試験	学習カリキュラム画面の最下段にある資格更新試験（下図⑤）をクリックし、受験してください。各科目の問題数は10問、試験時間は240分です。 アドバイザー資格更新試験 <table><thead><tr><th>目次</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>操作</th><th>状況</th></tr></thead><tbody><tr><td>アドバイザーAV 資格更新試験</td><td>資格更新試験</td><td>解説</td><td></td><td>未受験</td></tr><tr><td>アドバイザーCS 資格更新試験</td><td>資格更新試験</td><td>解説</td><td></td><td>未受験</td></tr><tr><td>アドバイザー生活 資格更新試験</td><td>資格更新試験</td><td>解説</td><td></td><td>未受験</td></tr></tbody></table> 不合格の場合、解説（上図⑥）をクリックし、不正解の問題の解説をご確認ください。（テキストの該当ページが開きます。）合格するまで再受験可能です。対象科目全てに合格されると、「資格更新完了」となります。	目次	⑤	⑥	操作	状況	アドバイザーAV 資格更新試験	資格更新試験	解説		未受験	アドバイザーCS 資格更新試験	資格更新試験	解説		未受験	アドバイザー生活 資格更新試験	資格更新試験	解説		未受験																																																																	
目次	⑤	⑥	操作	状況																																																																																		
アドバイザーAV 資格更新試験	資格更新試験	解説		未受験																																																																																		
アドバイザーCS 資格更新試験	資格更新試験	解説		未受験																																																																																		
アドバイザー生活 資格更新試験	資格更新試験	解説		未受験																																																																																		

Ⅲ. マイスタディ講座のご案内

認定センターのホームページを随時リニューアルしています。資格保有者の皆さまにとって、必要な情報などを毎月配信していますので、ぜひ定期的に閲覧いただきますようお願いいたします。

とりわけ、資格保有者の皆さまに対する情報発信コーナーを2015年12月より「**マイスタディ講座**」として刷新しました。ご自身が保有されている資格に関する最新知識の掲載など、皆さまのお役に立てる情報を月替わりでご提供いたしますので、ぜひ、ご活用ください。

マイスタディ講座を閲覧するためには、マイページの**マイスタディ講座**をクリックしてください。
マイスタディ講座では、以下の5つのコーナーを準備しています。

- ① **ちょっと知りたい『お助けコーナー』**・・・最新の参考書を手軽に閲覧できます
- ② **最新試験に挑戦『腕試しコーナー』**・・・直近の試験問題を詳しく解説します
- ③ **今月の注目『これ知ってこコーナー』**(隔月)・・・注目テーマについて詳しい情報をお届けします
- ④ **エンジニアのために『エンジニアリサーチコーナー』**(隔月)
・・・エンジニアの方のための技術的に掘り下げた内容です
- ⑤ **旬のネタ『トレンドウォッチングコーナー』**・・・今「旬」のネタをご提供します

マイスタディ講座

発信情報一覧

2016年09月 発信情報

2016年08月 発信情報

2016年07月 発信情報

①

家電製品アドバイザー参考書

▼ AV情報家電

商品知識と取扱い (1)

- 1章 デジタル技術の基礎
- 2章 テレビ放送

商品知識と取扱い (2)

- 3章 テレビ受信機
- 4章 デジタルディスクレコーダー

商品知識と取扱い (3)

- 5章 ビデオカメラ
- 6章 デジタルカメラ

商品知識と取扱い (4)

- 7章 AVシステム
- 8章 AV機器の接続・設定

商品知識と取扱い (5)

- 9章 ナビゲーションシステム
- 10章 パソコン
- 11章 プリンター
- 12章 電話

商品知識と取扱い (6)

- 13章 インターネット・AVネットワーク
- 14章 電池
- 15章 電源ヒススマートハウス
- 16章 防じん・防水

▼ 生活家電

商品知識と取扱い (1)

2016年09月 発信情報

	資料名	配信開始日
⑤	トレンド・ウォッチングコーナー 「国際コンシューマ・エレクトロニクス展開催」	2016年09月16日
	腕試しコーナー エンジニア最新試験問題「テレビ」	2016年09月16日
②	腕試しコーナー エンジニア最新試験問題「生活家電の製品安全」	2016年09月16日
④	エンジニアリサーチコーナー 「700MHz帯再編とテレビ受信対策」	2016年09月16日

マイスタディ講座の利用方法は[こちら](#)をご参照下さい。

※PDFの閲覧には通信を伴います。ご利用の際は通信環境の良い所でアクセスしてください。

※閲覧によって発生した通信費用に関しましてはお客様のご負担となります。

※スマートフォンから閲覧の際には通信量の制限にご注意ください。

※本サービスで提供しているPDFは最大10MB程度です。

Ⅳ.エグゼクティブ・チャレンジのご案内

2013年9月の全国統一試験より、高得点での合格者に対し「プラチナグレード」、「ゴールドグレード」といった特別称号を付与する制度『エグゼクティブ等級』を導入しました。

有資格者の方には、一般の受験料の半額程度で受験していただける『エグゼクティブ・チャレンジ』という制度を設けました。資格更新に併せて受験いただきますと、資格の有効期間(5年間)とエグゼクティブ等級の有効期間(保有資格の有効期間と同一)が一致して最も効率的です。ぜひ、資格更新の時期に、さらなるステップアップを目指してチャレンジしてみてください。

「エグゼクティブ・チャレンジ」の申請は認定センターのホームページ(<http://www.aeha.or.jp/nintei-center/>)よりお願いします。(資格更新申請の手続きのなかでご選択いただけます)

次回(第32回)の全国統一試験の申請期間は、2016年12月1日(木)～2017年1月25日(水)(※)です。

※資格更新申請の締切日(3/31)と受験申請の締切日(1/25)は異なりますので、「エグゼクティブ・チャレンジ」お申込みの際はご注意ください。

【プラチナグレード】



【ゴールドグレード】



過去7回の試験におけるエグゼクティブ等級の合格者は計1,055名であり、まさに最上級のステイタスと言えます。ぜひ、資格更新の時期にチャレンジをご検討ください。

詳しくは認定センターのホームページ(<http://www.aeha.or.jp/nintei-center/>)にてご確認ください。

《認定センターからのお願い》

今後共、皆さまとは“より迅速に”、“より効率的に”コミュニケーションをはかっていきたいと考えております。

しかしながら、ご登録されている各種のデータ(住所・メールアドレス・電話番号・勤務先など)が古い(メンテされていない)ために、重要なお案内やお届けものが届かないケースが発生しています。ぜひとも、資格更新の機会に、**今一度「登録データに変更がないか」ご確認**をお願いします。

個人情報のご確認と変更手続は、マイページの「個人情報の照会・変更(修正)」から行うことができます。

一般財団法人家電製品協会 認定センター

〒100-8939 東京都千代田区霞が関三丁目7番1号 霞が関東急ビル5階

電話: 03 (6741) 5609 FAX: 03 (3595) 0766 メール: nintei-info2@aeha.or.jp

URL <http://www.aeha.or.jp/nintei-center/> モバイルサイト <http://aeha-nintei.jp/>

